2026 年度

大 学 院 医 学 研 究 科
（博士課程）
学生募集要項

【社会人対象コースを含む】

【第 1 次募集】

出願期間　2025 年 8 月 29 日（金）～ 10 月 3 日（金）

試 験 日　2025 年 11 月 7 日（金）

【第 2 次募集】

出願期間　2025 年 12 月 1 日（月）～ 12 月 26 日（金）

試 験 日　2026 年　1 月 9 日（金）

聖マリアンナ医科大学大学院

St. Marianna University Graduate School of Medicine

大学院医学研究科の目的、教育目標、アドミッション・ポリシー

【目　的】

本大学院は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる業務を担うための卓越した能力及び深い学識を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。（大学院学則第 2 条より）

【教育目標】

医学に関する学術の理論及び応用研究の知識、高度の専門性が求められる業務を担うための卓越した能力及び深い学識、高い倫理観、国際的な視野を備え、文化の進展に寄与する医学研究者・医学教育者・医学に係わる高度専門職業人として成長できる者を養成します。

【入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本学は、キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕しうる人間の育成、ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かして行く医師の養成を建学の精神としております。この建学の精神と本大学院の目的を理解し、医学研究者・医学教育者・医学に係わる高度専門職業人として成長できる者として、以下の資質・能力を身に付けている者を求めます。

■求める学生像

1. 自立した研究者として医学に対して積極的な研究意欲のある者
2. 探求心を不断に持ち、国際的視野に立って医学を研究できる者
3. 新たな知見や技術を理解・吸収し、自ら成長できる者
4. 豊かな人間性と高い倫理観を持ち、人類社会に貢献できる者

■入学までの習得が望まれること

1. 英語論文の読解と作成に必要となる基礎英語能力
2. 医学・生命科学領域の研究遂行に必要となる、医学部医学科、歯学部、または修了年限 6 年の獣医学科もしくは薬学部を卒業した者と同等の水準の医学･生命科学の知識
3. 臨床系専攻分野を希望する者は高度先端医療の実践への貢献を目指すことができる医療技術・知識経験等

■入学者選抜の基本方針

1. 語学力を評価するための、外国語（英語）試験の実施
2. 専門分野に関する知識や論理的思考等を評価するための、専攻分野別試験の実施
3. 医療人・研究者としての適性、向上心、研究意欲、人間性を評価するための、面接試験の実施

1～3 をもとに評価をします。

目　次

１．	専攻分野および募集人員	２頁
２．	出願資格	３頁
３．	出願資格審査	４頁
４．	社会人対象コース	５頁
５．	大学院特待生制度	５頁
６．	出願手続	６頁・７頁
７．	出願上の注意事項	８頁
８．	選抜方法	９頁
９．	試験期日および場所	１０頁
１０．	合格発表	１０頁
１１．	入学手続	１１頁
１２．	奨学金制度	１２頁
１３．	学生教育研究災害傷害保険	１２頁
１４．	個人情報保護	１２頁
１５．	受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の相談受付	１３頁
１６．	専攻分野・研究指導教員	１４頁～２６頁

１．専攻分野および募集人員

医学研究科

専　攻	専　　攻　　分　　野	募集人員
医科学系	生体構造学、生体統合制御学、疾患プロテオーム・分子病態治療学、臨床微生物・感染制御学、臨床薬理学、病理病態学、再生医学・免疫病態医学、健康・環境制御医学、法医学、難治性疾患病態制御学、総合診療内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、消化器内科学、腎臓・高血圧内科学、代謝・内分泌内科学、脳神経内科学、血液・腫瘍内科学、リウマチ・膠原病・アレルギー内科学、小児科学、神経精神科学、放射線診断・IVR 学、放射線治療学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、消化器・一般外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、小児外科学、乳腺・内分泌外科学、脳神経外科学、整形外科学、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学、形成外科学、救急医学、スポーツ医学、臨床検査医学、臨床腫瘍学、感染症学、リハビリテーション医学、緩和医療学、分子神経科学、医療情報処理技術応用研究分野、バイオインフォマティクス学、周産期発生病態解明学、最新医学研究コース*1、高度臨床医育成コース*2、未来がん医療プロフェッショナル養成コース	60 名

＊１　最新医学研究コースは社会人を対象としており、大学院学生が研究指導教員を選択し研究を行うコースである。

＊２　高度臨床医育成コースは、内科学、外科学、総合診療の 3 コースからなる。

２．出 願 資 格

【一般入学試験】

出願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

１）大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限６年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者および 2026 年３月卒業見込みの者。防衛省設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校（医学教育部医学科）を卒業した者および 2026 年３月卒業見込みの者。

２）外国において学校教育における 18 年間の課程（最終の課程は医学、歯学または獣医学、薬学）を修了した者および 2026 年３月修了見込みの者。

３）文部科学大臣の指定した者。

（注）文部科学大臣の指定した者とは、次のうちいずれかに該当する者をいう。

① 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和 49 年文部省令第 29 号）による改正前の学位規則（昭和 28 年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む）で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

② 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く）を卒業し並びに防衛省設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校（医学教育部看護学科）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

４）本大学院が、大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限６年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力がある、と認めた者。

注

（1）受験しようとする者は、出願期間以前に希望する専攻分野の研究指導教員に出願の許可を得ること。

（2） 1）、3）、4）の「大学」とは、学校教育法第 83 条の定める日本国内の大学とする。

（備　考）

・原則として、総合診療内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、消化器内科学、腎臓・高血圧内科学、代謝・内分泌内科学、脳神経内科学、血液・腫瘍内科学、リウマチ・膠原病・アレルギー内科学、小児科学、神経精神科学、放射線診断・IVR 学、放射線治療学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、消化器・一般外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、小児外科学、乳腺・内分泌外科学、脳神経外科学、整形外科学、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学、形成外科学、救急医学、臨床腫瘍学、緩和医療学、周産期発生病態解明学、最新医学研究コース、高度臨床医育成コース、未来がん医療プロフェッショナル養成コースの志願者にあっては､医師法に定める２年以上の臨床研修修了者または 2026 年３月修了見込みの者であること。

３．出 願 資 格 審 査

<u>出願資格審査について</u>

・出願資格　１）に該当する者は、出願資格審査を必要としない。

・出願資格２）、３）、４）に該当する者は、出願する前に出願資格の審査を受け、その結果に基づき出願すること。（不明な点は、大学院・研究推進課大学院係に問い合わせること。）

a　出願資格審査申請を希望する者は、事前に大学院･研究推進課大学院係へ連絡すること。

提出書類

1）入学試験出願資格認定申請書

2）研究業績目録

3）成績証明書〔出身大学・大学院（学部・研究科）長の発行したもの〕

4）卒業証明書〔出身大学・大学院（学部・研究科）長の発行したもの〕

b　出願資格審査申請受付期間

第１次募集の場合：2025 年　9 月 4 日（木）まで

第２次募集の場合：2025 年 12 月 4 日（木）まで

（第２次募集は第１次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。）

c　出願資格審査の結果は、下記の日時までに通知する。下記日時までに通知のない場合、大学院・研究推進課大学院係に問い合わせること。

第１次募集の場合：2025 年　9 月 26 日（金）まで

第２次募集の場合：2025 年 12 月 25 日（木）まで

４．社会人対象コース

社会人を受け入れるため、最新医学研究コースを設置している。

社会人対象コースに出願できる者は、以下 a～c の全ての条件を満たす者とする。

a. 出願時に病院、診療所、研究所、教育機関又は保健機関等(本学施設を除く)に勤務しており、入学後もその身分を有し、勤務先の機関長又は任命権者の受験及び就学の承諾を受けた者

b. 3 頁 2. 出願資格 1)～4)のいずれかに該当する者。

c. 原則として、医師法に定める 2 年以上の臨床研修を修了している、または 2026 年 3 月修了見込みの医師である者。

＊医師以外の者が申請する場合には、原則として、以下の初期臨床研修の修了を要さない専攻分野の研究指導教員の了解を事前に受けること。

原則として初期臨床研修の修了を要さない専攻分野：生体構造学、生体統合制御学、疾患プロテオーム・分子病態治療学、臨床微生物・感染制御学、臨床薬理学、病理病態学、再生医学・免疫病態医学、健康・環境制御医学、法医学、難治性疾患病態制御学、スポーツ医学、臨床検査医学、感染症学、リハビリテーション医学、分子神経科学、医療情報処理技術応用研究分野、バイオインフォマティクス学

５．大学院特待生制度

大学院特待生制度は、以下 a～c の全ての条件を満たした者を対象とする。

a. 本学医学部卒業時に、明石賞または医学会賞を授与された者。

b. 本学医学部卒業後５年以内に、本学大学院入学試験に合格した者。

c. 大学院修了後も引き続き本学で教育・研究に従事し、医学研究の発展に寄与できると判断された者。

大学院特待生は、４年間に納付すべき入学金及び授業料を免除される。

ただし、最新医学研究コース（社会人対象コース）を専攻する者は、大学院特待生制度の対象とならない。

詳細は、大学院・研究推進課大学院係に問い合わせること。

６．出 願 手 続

１）出願期間　**第１次募集：2025 年 8 月 29 日（金）から 10 月 3 日（金）まで**

第２次募集：2025 年 12 月 1 日（月）から 12 月 26 日（金）まで

（第２次募集は、第１次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。）

※試験日は、第１次募集・第２次募集における本試験の日程のみとする。

感染症対策として試験当日に発熱等の症状がある方は受験できない場合もあるので、第１次募集にて受験することが望ましい。

なお、上記の理由により第１次募集入学試験を受験できなかった場合は、第２次募集入学試験の検定料を免除する。

○出願書類を持参する場合

受付時間　（平　日：午前９時から午後５時まで／土曜日：午前９時から正午まで）

※日曜・祝祭日、開学記念日（2025 年 10 月 11 日）、

年末年始（2025 年 12 月 28 日～2026 年 1 月 4 日）は対応しない。

○出願書類を郵送する場合

上記出願期間内に必着のこと。

必ず書留郵便とし、封筒に「大学院医学研究科出願書類在中」と朱書きすること。

２）出願書類提出先

〒216－8511　神奈川県川崎市宮前区菅生２－16－1

聖マリアンナ医科大学　教学部　大学院・研究推進課　大学院係

Tel.　044－977－8111　内線：4061～4065

３）出願書類等

出願書類等		摘　　要	選抜方法	
			一　般	社会人
1	入学願書ＡＢＣＤ	本学所定の用紙を使用のこと。Ａの裏面も記載のこと。	○	○
2	志望理由書	本学所定の用紙を使用のこと。	○	○
3	成績証明書　＊1 ＊5	出身大学（学部）長が発行し厳封したもの。	○	○
4	卒業（見込）証明書＊1	出身大学（学部）長が発行したもの。	○	○
5	臨床研修修了（見込）証明書＊2	臨床研修修了病院で発行された修了証の写しまたは、修了証明証を提出すること。 臨床研修修了見込みの者は、必ず出願時に臨床研修修了見込証明書を提出すること。また 2026 年４月１日までに臨床研修修了証の写しまたは、臨床研修修了証明書を提出すること。	○	○
6	特別永住者証明書又は在留資格カードの写し＊3	有効期間記載のもの。	○	○
7	医師免許証等の写し	医師は医師免許証、医師以外の者は、取得している看護師、薬剤師、管理栄養士等の免許証の写しを、A4 版に縮小コピーして提出すること。	○	○
8	大学院研究科成績証明書＊4	出身大学（研究科）長が発行し厳封したもの。	○	○
9	大学院研究科課程修了（見込）証明書＊4	出身大学（研究科）長が発行したもの。	○	○
10	受験許可・就学承諾書	所属する機関の機関長又は任命権者の発行したもの。（本学所定用紙）	―	○
11	写真２枚	願書貼付用のもの。	○	○
12	入学検定料	¥30,000 を本学所定の振込用紙を使用して振り込み、入学検定料振込証明書を入学願書Ｃに貼付すること。	○	○

＊1　本学卒業（見込）者は、３、４の提出の必要はない。

＊2　聖マリアンナ医科大学病院・川崎市立多摩病院・横浜市立西部病院にて臨床研修修了した（2026 年３月修了見込）者は、５の提出の必要はない。

＊3　日本以外の国籍を有し特別永住者である者は、有効期間記載の６を提出すること。

＊4　他大学院を修了または修了見込みの者は８と９を、退学した者は８を提出すること。

＊5　外国の大学が発行した場合、和訳を添付すること。

注）外国語（英語）試験免除を希望する者及び日本語を母国語としない受験者は、９頁の２）３）を参照の上、必要書類を提出すること。

７．出願上の注意事項

１）＊印の欄には記入しないこと。

２）ペン（黒のインク、ボールペンも可）を使用すること。消せるボールペンや消えやすいインク、鉛筆などで書かれた書類は受理しない。

３）本人自筆で楷書にて記入すること。（本人以外の者が記入した場合は、無効とすることがある。）

４）該当事項は〇印で囲むこと。

５）氏名のふりがなは必ず記入すること。

６）氏名は戸籍に記載された文字を正確に記入し、生年月日は算用数字を用いること。外国人については特別永住者である者は特別永住者証明書に記載された氏名を用いること。

７）電話は市外局番・電話番号を必ず記入すること。

８）入学願書 B C D は切りはなさないこと。

９）出願手続き完了後の志望専攻分野の変更はできない。

10）社会人対象コースを志望する者は専攻分野欄に「最新医学研究コース」と記入すること。

11）志望する専攻分野の研究指導教員の了解を得て、入学願書に捺印してもらうこと。

12）写真は最近 3 ヶ月以内に撮影したもので、縦 4cm×横 3cm とし、上半身、脱帽、背景無しに限る。裏面に氏名を記入すること。2 枚とも志願票の所定の欄に貼付すること。

〔男性〕スーツ（上着）・ネクタイ着用

〔女性〕スーツ、又は襟・袖ありの服装

13）出願書類に記載すべき事項の記入漏れ、その他不備のある場合は、出願書類を受理しないことがある。

14）出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格を取り消すことがある。

15）受理された出願書類および入学検定料は、理由の如何を問わず一切返却しない。

16）受験票は下記期間までに、大学院･研究推進課　大学院係まで受取りに来ること。

17）社会人受験者で受験票を下記期間に受取りに来られない場合は､事前に申し出れば郵送も可能である。

受験票受取期間

第１次募集：2025 年 10 月 14 日（火）から 10 月 22 日（水）まで

第２次募集：2026 年 1 月 5 日（月）から 1 月 7 日（水）まで

受付時間（平　日：午前 9 時から午後 5 時まで／土曜日：午前 9 時から正午まで）

※日曜・祝祭日は対応しない。

８．選 抜 方 法

１）選抜方法

入学者は、学力試験、面接試験および出身大学の成績証明書の内容等を総合し、選抜される。

２）外国語（英語）試験について

受験者は、出願時に「外国語（英語）試験**受験**（英文和訳等）」と「外国語（英語）試験**免除**」を選択できる。

「外国語（英語）試験**免除**」を希望する者は、出願時に以下（1）～（4）のいずれかの証明書を提出すること。

【外国語（英語）試験免除条件】

以下（1）～（4）の**いずれかを満たしている場合**は、外国語（英語）試験を免除する。希望者は、受験願書とともに以下（1）～（4）のいずれかの証明書を提出すること（原本を提出のこと。確認後に写しを取り、原本は返却する）。2019 年 1 月 1 日以降の記録を原則とする。

（1）TOEFL（トーフル）　iBT：76 点以上、PBT：540 点以上

（2）IELTS（アイエルツ）　6.0 以上

（3）TOEIC（トーイック）　700 点以上

（4）CET（中国の大学英語試験）６級合格（中国では６級は大学院入学の条件）

※希望者は認定書または合格通知書（スコアシート等一定基準が確認できる書類）を提出すること。

３）日本語を母国語としない受験者について

日本語を母国語としない受験者は、日本国際教育支援協会（国内）・国際交流基金（国外）が実施する日本語能力試験（略称 JLPT）N5 以上（旧試験において 4 級以上）の合格者であることが望ましい。

上記合格者は、証明書を出願時に提出すること（原本を提出のこと。確認後に写しを取り、原本は返却する）。

９．試験期日および場所

試　験　日	試　験　科　目	時　　間	試　験　場
第１次募集： **2025 年 11 月 7 日（金）**	外国語（英語）試験	9：00～10：30	医学部本館３階 大学院講義室１・２
	専攻分野別試験	11：00～12：00	
第２次募集： **2026 年 1 月 9 日(金)**	面　接　試　験	13：00～17：00 (時間帯の間で実施)	各専攻分野

※　外国語（英語）試験については、辞書（電子辞書含）の持ち込みを許可する。
　　ただし翻訳・通信機能のある電子機器（携帯電話及び通信機能付き時計等を含む）
　　は不可。
　　フレーズ辞書・参考書等については電子辞書・辞書共に使用不可。

※　専攻分野別試験は、志望した専攻分野の研究内容を問う。

※　第２次募集は、第１次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。

※　面接試験の場所は、試験前日までに志望専攻分野の研究指導教員に確認しておくこと。

※　天候等により試験時間を遅らせる場合がある。

※　試験開始 10 分前には着席すること。

※　原則、試験開始３０分以降は、試験会場へは入場不可。

１０．合 格 発 表

第１次募集：2025 年 12 月 4 日（木）　午後 2 時

第２次募集：2026 年　2 月 5 日（木）　午後 2 時

本学医学部本館１階公示板及び３階大学院掲示板に掲示し、本学ホームページで発表する。
(https://www.marianna-u.ac.jp/gs/gs.html)

注意：電話や郵便などによる合否の問い合わせには一切応じない。万一、ホームページと本学公示板・掲示板に違いがある場合は、本学公示板・掲示板の内容が優先される。

１１．入 学 手 続

合格者には、合格証および入学手続書類を交付するので、受験票持参の上、大学院･研究推進課大学院係窓口まで申し出ること。

第１次募集の場合

入学手続書類交付期間：**2025 年 12 月 4 日（木）から 12 月 10 日（水）まで**

入 学 手 続 期 間：**2025 年 12 月 5 日（金）から 12 月 19 日（金）まで**

第２次募集の場合

入学手続書類交付期間：**2026 年 2 月 5 日（木）から 2 月 12 日（木）まで**

入 学 手 続 期 間：**2026 年 2 月 6 日（金）から 2 月 20 日（金）まで**

手続き書類の交付を受けた者は、手続期間内に入学手続を完了すること。期間内に手続きを完了しなかった者は合格を取り消すものとする。

受付時間（平　日：午前９時から午後５時まで／土曜日：午前９時から正午まで）

※日曜・祝祭日は対応しない。

１）入学手続書類

ア．学籍原簿　　本学所定の用紙を使用。

イ．入学誓約書　　本学所定の用紙を使用。

ウ．学生カード　　本学所定の用紙を使用。

エ．住民票　　１通

オ．写真３枚　　学籍原簿・学生カードに各１枚貼付、学生証用に１枚提出。

２）学資

入学者の納入すべき学資は下表のとおりである。本学所定の振込用紙を使用し、入学手続き期間内に完納すること。

なお、入学手続完了者が 2026 年 3 月 31 日（火）午後 5 時までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除いた学資を返還する。

	初年度学資	次年度以降学資
入　学　金	￥100,000	――――
授　業　料	￥400,000	￥400,000
合　　計	￥500,000	￥400,000

＊別に学位審査手数料（70,000 円）、医学会費（4 年間で 21,000 円）などが必要である。（金額は 2025 年 4 月 1 日現在）

１２．奨 学 金 制 度

本学では教育の機会均等の観点から、人物・学業ともに優秀かつ健康な学生で、経済的事由により学業の継続が困難な者に対して学資の援助を行っている。

区分	項　　目	対　象　者	貸　与　額
本学	大学院奨学金	学資支弁が困難でかつ学業、人物、健康ともに良好であると認められる者	貸与月額　　50,000 円
学外	日本学生支援機構奨学金	人物、学業ともに特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく修学が困難な者	貸与月額 （2025 年度実績） 80,000 円・122,000 円 又は 50,000 円～150,000 円

＊上段は本学奨学生選考委員会、下段は日本学生支援機構が選考する。

１３．学生教育研究災害傷害保険

この保険は、学生が正課授業中または課外活動中の急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合、保険金が支払われる互助救済制度である。保険料は大学が負担しており、学生が安心して研究活動ができるよう、学生全員を対象として加入している。

１４．個人情報保護

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱う。

1.　利用目的

出願に当たって提供された氏名、住所およびその他の個人情報は、次に揚げる目的に利用する。

1）入学者選抜、合格発表、入学手続き等入学までの一連の業務を行うため。

2）入学後の学籍関係（各種学籍管理処理および各種証明書発行等）、修学関係（学業成績等）およびそれらの各種連絡や通知を行うため。

２．第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に揚げる場合に限ることとする。

1）本大学院の入学者について、名簿作成および各種連絡や通知等に使用するために、本学の同窓会である聖医会等に提供する場合、また、学位授与関係等の報告のために提供する場合。

2）法律で定められた適正な手続きにより情報開示をもとめられた場合。

１５．受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の相談受付

1.　時期、方法

疾病・負傷・障害等がある入学志願者のうち、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願時に大学院・研究推進課大学院係に相談すること。

必要に応じ疾病等に関する書類の提出や面談を求めることがある。

２．出願時以降に疾病等が生じた場合

出願時以降に生じた疾病等により受験上または修学上の配慮が必要となった者は、速やかに大学院・研究推進課大学院係に申し出ること。

問合せ先

〒216-8511　神奈川県川崎市宮前区菅生２－16－1
聖マリアンナ医科大学　教学部　大学院・研究推進課　大学院係
Tel．044－977－8111　内線：4061～4065

１６．専攻分野・研究指導教員

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
生体構造学	池森　敦子	1．機能組織学・臨床組織学的研究 2．人体構造学・臨床解剖学的研究 3．腎臓病研究 4．骨の解剖学的および形態人類学的研究 5．上皮細胞のイオン輸送機構 6．ホルモンによる組織形成調節機構 7．細胞膜損傷の修復機構 8．脳内ペプチドによるシグナル伝達機構
大学院専用アドレス；daigakuin-seitaikouzou@marianna-u.ac.jp		
生体統合制御学	幸田　和久	1．ゴナドトロピン分泌の中枢性調節機序 2．痛み行動の性差の神経基盤 3．子育て行動の神経基盤 4．骨格筋可塑性の生理学的機序 5．摂食行動調節の神経基盤 6．小脳の可塑性の神経基盤
大学院専用アドレス；daigakuin-integrative@marianna-u.ac.jp		
疾患プロテオーム･分子病態治療学	鈴木 真奈絵	1．プロテオミクスによる治療標的蛋白質の探索 2．プロテオミクスによるバイオマーカの探索 3．疾患特異的蛋白質翻訳後修飾の解析 4．自己免疫疾患の病因病態の分子解析 5．シェディングに関わる細胞表面蛋白質の解析 6．ライリンの機能解析 7．炎症性疾患における病態機序の解析
大学院専用アドレス；daigakuin-clinproteomics@marianna-u.ac.jp		
臨床微生物・感染制御学	竹村　　弘	1．抗微生物薬の薬効評価 2．宿主・病原微生物・抗微生物薬の相互関係の解明 3．細胞内寄生細菌の病原性と宿主応答 4．多剤耐性菌の耐性機序と分子疫学の解析 5．病原微生物の迅速検出法の開発 6．各種成分の抗菌作用および併用効果の評価 7．病原真菌と細菌の相互作用解明 8．病原微生物の生体内播種機構の解明と予防法開発
大学院専用アドレス；daigakuin-clinmicrobiol@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
臨床薬理学	木田　圭亮	1．日本人の消化管・肝臓に発現する薬物代謝酵素の機能解析 2．日本人の肝細胞を用いた薬物相互作用の研究解析 3．循環器疾患治療薬の臨床薬理学的研究 4．臨床研究の教育に関する研究 5．脂肪組織を用いた再生医療に関する研究 6．G 蛋白質共役型受容体の機能解析と疾患の関連性の解明
大学院専用アドレス；daigakuin-cpt@marianna-u.ac.jp		
病理病態学	小池　淳樹	1．腫瘍発生に関する分子病理学的研究 2．胆道・膵腫瘍の病態に関する研究 3．乳腺疾患病態病理学的・治療学的研究 4．神経内分泌腫瘍の病態に関する研究 5．腎・泌尿器疾患に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-pathology@marianna-u.ac.jp		
再生医学・免疫病態医学	宮部　斉重	1．生体イメージングを用いた病態の可視化 2．炎症性疾患における免疫細胞の動態解析 3．腸内免疫応答メカニズムの解明 4．自己免疫疾患の病態解析並びに新規治療開発 5．再生医療における組織修復の分子メカニズムの解明
大学院専用アドレス；daigakuin-immunology @marianna-u.ac.jp		
健康・環境制御医学	髙田　礼子	1．アスベストやヒ素化合物等の有害環境物質による健康障害の予防・根絶に向けた研究 2．遺伝的感受性素因からの疾病予防に関する研究 3．遺伝性疾患の機能解析 4．健康・臨床情報を用いた疫学研究 5．臨床指標を用いた PDCA サイクルに基づく医療の質の改善の取り組み
大学院専用アドレス；daigakuin-preventive-med@marianna-u.ac.jp		
法医学	呂　　彩子	1．循環系突然死に関する病理形態学的研究 2．薬毒物等の LC-MS 分析法の開発 3．薬物の生体内代謝に関する研究 4．死後画像診断法に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-legalmedicine@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
難治性疾患病態制御学	遊道　和雄	1．難治性疾患の病因、病態の研究 2．骨関節疾患の次世代再生医療技術の創生 3．医療に向けて、ナノテクノロジーを応用したナノメディスンの開発 4．知財研究、とくに研究成果の社会還元 5．ゲノム医療に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-nanchishikkan@marianna-u.ac.jp		
総合診療内科学	大平　善之	1．病歴情報や身体診察の操作特性、診断エラーなど、臨床推論に関する研究 2．患者受療行動、患者意思決定支援に関する研究 3．ポリファーマシー、薬物有害事象、処方最適化などに関する研究 4．地域で捉えた高齢者医療・家庭医療に関する研究 5．プライマリ・ケアの場で必要な迅速診断キットに関する研究 6．卒前・卒後教育に必要なクリニカルスキルに関する研究 7．地域医療連携システム、医療経済、医療政策に関する研究 8．リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究
大学院専用アドレス；daigakuin-gim @marianna-u.ac.jp		
呼吸器内科学	峯下　昌道	1．気道狭窄に対する呼吸器インターベンション 2．気道内圧、および呼気中 CO2, O2 を用いた呼吸生理学的検討 3．難治性気胸の治療 4．COPD の内視鏡的治療 5．肺癌の診断と治療 6．気管支腔内超音波検査法 7．レーダーを用いた呼吸モニター及び肺機能検査 8．高齢者における呼吸器疾患
大学院専用アドレス；daigakuin-respiratory@marianna-u.ac.jp		
循環器内科学	明石　嘉浩	1．弁膜症のカテーテル治療 2．運動負荷エコーによる心機能解析 3．心臓超音波を用いた心機能指標の評価 4．低心機能患者に対する心室再同期治療 5．難治性不整脈に対するカテーテル治療 6．心臓リハビリテーション 7．デジタル循環器病学
大学院専用アドレス；daigakuin-cardiology@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
消化器内科学	立石　敬介	1.消化器疾患におけるヒト・病原体のゲノム解析 2.エピゲノム研究と消化器内科学 3.B 型肝炎から脂肪肝まで；肝癌発生機序の研究 4.AI を用いた消化器内科学研究 5.新しい消化器内視鏡診断および治療手技の開発研究 6.膵癌・胆道癌など消化器癌の病態・診断と治療法の探索 7.炎症性腸疾患（IBD）の研究
大学院専用アドレス；daigakuin-shokakinaika@marianna-u.ac.jp		
腎臓・高血圧内科学	柴垣　有吾	1.腎疾患におけるサルコペニアの発症・進展機序の解明 2.脂肪酸結合蛋白の腎保護作用の検討とその応用 3.CKD における血管障害と病態の臨床的検討 4.レニンーアンジオテンシンーアルドステロン系と腎障害発症・進展への関わりの基礎的および臨床的検討 5.腎血行動態と腎障害の関係の基礎的および臨床的研究 6.腎移植ドナーの予後に関する研究 7.腹膜透析の長期予後に関わる基礎研究 8.高齢 CKD 患者の身体認知機能に関する研究 9.アウトカムとしての希望に関する研究
大学院専用アドレス；shibagaki@marianna-u.ac.jp		
代謝・内分泌内科学	曽根　正勝	1.代謝障害と骨格筋機能に関する研究 2.糖尿病合併症に関する研究 3.糖尿病と栄養・食事療法に関する研究 4.原発性アルドステロン症の多施設共同レジストリ研究 5.下垂体・甲状腺・副腎疾患の疫学研究 6.iPS 細胞/ES 細胞を用いた代謝・内分泌臓器の機能解析
大学院専用アドレス；daigakuin-metabolism@marianna-u.ac.jp		
脳神経内科学	山野　嘉久	1.脳卒中の診断・治療法と医療システムの開発 2.難治性神経疾患の病態解明と治療法の開発 3.神経超音波学的研究 4.人工知能を用いた診断・治療法の開発 5.iPS 細胞を活用した神経再生研究 6.遠隔医療やデジタルデバイスの活用研究 7.神経疾患のゲノム・オミックス解析
大学院専用アドレス；daigakuin-neurology@marianna-u.ac.jp		
血液・腫瘍内科学	新井　文子	1.難治性血液疾患の病態解明と治療法の開発 2.慢性活動性 EB ウイルス感染症の病態解明と治療法の開発 3.EB ウイルスによる発がん機構の解明 4.多発性骨髄腫に対する治療法の開発 5.染色体・遺伝子変化に基づいた B 細胞性リンパ腫／白血病治療法の開発
大学院専用アドレス；daigakuin-hematology@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	川畑　仁人	1.成人及び小児関節炎疾患の病態解明及び移行期医療に関する研究 2.新たな細胞集団解析法に基づく膠原病の病態解明と治療への応用 3.難治性血管炎の病態解析と治療法の確立 4.皮膚筋炎の病態を反映するバイオマーカーの開発 5.リウマチ性疾患における感染症のリスク解析と予防法の開発 6.膠原病合併間質性肺炎の新規バイオマーカー 7.膠原病合併間質性肺炎に対する抗線維化療法
大学院専用アドレス；daigakuin-rheum-allergy@marianna-u.ac.jp		
小児科学	清水　直樹	1.急性期：(集中治療) ヘリウムと超高頻度振動換気、ECMO/蘇生研究、エクソーム死因検索、搬送遠隔医療電子化、(新生児) 早産低出生体重児の薬物動態と生理的パラメータ研究、生体情報ビッグデータ解析、(循環器) 妊娠中投薬による心筋収縮蛋白と小胞体構成蛋白発現変化、新生児左房機能、川崎病新規治療 2.神経遺伝：長時間ビデオ脳波検査の有用性、抗てんかん薬の血中濃度に関する研究 3.感染免疫：住民健康改善に資するエビデンス創出を目指した多地域コホート研究 (LIFE study)、Baked egg を用いた食物アレルギー早期介入研究 4.血液腫瘍：血友病患者の QOL の実態調査、ステロイドの抗血栓性の機序解明、FVlla の滑膜炎抑制効果、小児リンパ腫に対する治療診断・バイオマーカー開発 5.総合：(救急、虐待、在宅、移行期、緩和) 小児救急・災害時 AI トリアージ、病棟音響と医療安全、小児外傷鎮静、虐待予測診断、(腎臓・消化器・代謝・内分泌) 各領域に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-pediatrics@marianna-u.ac.jp		
神経精神科学	※1 古茶　大樹	1.主に認知症を中心とする老年精神医学領域の臨床的研究 2.発達障害、摂食障害などの児童・思春期精神医学領域の臨床的研究 3.統合失調症に関する基礎・臨床研究 4.認知行動療法に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-psychiatry@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
放射線診断・IVR 学	三村　秀文	1.CT、MRI、超音波を用いた生体高精細イメージングの研究 2.CT、MRI、核医学（PET など）を用いた生体機能イメージングの研究 3.救急医療における先端画像診断の合理的利用方法の研究 4.新しいインターベンショナルラジオロジー（IVR）の開発
大学院専用アドレス；housha@marianna-u.ac.jp		
放射線治療学	中村　直樹	1.高精度放射線治療を用いた新規治療開発 2.緩和的放射線治療の適応拡大に関する研究 3.緩和的放射線治療の評価尺度開発 4.寡分割照射法の開発 5.電子線照射の高精度化に関する研究
大学院専用アドレス；radiationoncology@marianna-u.ac.jp		
皮膚科学	門野　岳史	1.創傷治癒のメカニズムと細胞成長因子の役割 2.悪性黒色腫細胞の増殖に関わる因子とその制御 3.血管炎症候群の病態生理 4.アトピー性皮膚炎の発生メカニズムと治療 5.皮膚リンパ腫の発生メカニズムと治療 6.乾癬、接触皮膚炎などの皮膚炎症の制御 7.悪性黒色腫に対する腫瘍免疫の制御
大学院専用アドレス；daigakuin-dermatology@marianna-u.ac.jp		
腎泌尿器外科学	菊地　栄次	1.膀胱癌におけるマイクロ RNA を用いた診断法と治療法の開発 2.移植腎生検における急性拒絶反応の低侵襲診断法の確立 3.移植腎の長期予後を決定づける因子の解明 4.尿路感染症の鑑別診断法に関する研究 5.腎移植後の免疫抑制剤の至適血中濃度に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-urology@marianna-u.ac.jp		
消化器・一般外科学	民上　真也	1.フレイルの指標に関する研究 2.鼠径ヘルニアの術前診断と治療に関する研究 3.食道癌患者の周術期嚥下機能の評価に関する研究 4.閉塞性大腸がん症例に対する大腸ステントの術後短期成績に及ぼす影響に関する研究 5.膵頭十二指腸切除術における手術前後の栄養状態評価に関する研究 6.消化器外科領域の Surgical Site Infection の発生要因とその対策に関する研究 7.肝切除の適格性基準に関する研究 8.肝切除限界の術中評価法に関する研究 9.消化器外科領域手術における術後合併症発生を予測するための要因に関する研究 10.腹部外傷症例に対する至適術式に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-ggsurgery@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
心臓血管外科学	縄田　　寛	1.低侵襲弁膜症手術に関する研究 2.ハイブリッド治療による胸部大動脈瘤手術低侵襲化に関する研究 3.重症心不全の外科治療の研究 4.再生医療による人工血管作成に関する研究 5.心臓手術周術期の体液バランスに関する研究 6.心臓手術患者の frailty に関する研究 7.先天性心疾患における血流解析を用いた血行動態評価に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-cardiovascular@marianna-u.ac.jp		
呼吸器外科学	佐治　　久	1.進行肺癌に対する集学的治療開発に関する臨床試験 2.人工気管の開発 3.肺癌遺伝子異常と分子標的治療および免疫治療の研究 4.LC-MS/MS による肺癌タンパク質発現の解析 5.AI による胸部医用画像の精密解析 6.胸膜被覆材料の研究 7.プロテオゲノミクス解析による肺癌治療の研究 8.癌性胸膜炎に対する胸腔内治療の検討 9.肺癌外科治療におけるエネルギーデバイスの役割
大学院専用アドレス；daigakuin-chestsurgery@marianna-u.ac.jp		
小児外科学	古田　繁行	1.小児悪性固形腫瘍に対する CAR-T 細胞療法の確立に向けた基礎研究 2.神経芽腫の予後に関連するゲノム解析 3.多嚢腎発生メカニズムの解明 4.膀胱羊水腔シャントチューブの開発 5.先天性横隔膜ヘルニアの肺低形成発生のメカニズム
大学院専用アドレス；r2kobaya@marianna-u.ac.jp		
乳腺・内分泌外科学	津川 浩一郎	1.乳癌低侵襲手術の適応拡大と整容性向上 2.皮膚温存・乳頭乳輪温存乳房切除および乳房再建術の安全性と整容性向上 3.乳癌センチネルリンパ節生検の適応拡大と長期成績 4.乳癌術前薬物療法の効果判定と効果予測 5.乳癌分子標的療法の効果予測と治療成績 6.転移乳癌における転移パターンの解析 7.乳癌診療分野における人工知能（ Artificial Intelligence(AI)）の活用 8.副甲状腺組織の赤外線による自家蛍光の解明とその臨床応用 9.機能性結節性甲状腺における、ホルモン分泌能の解明 10.乳癌領域の QOL 及び医療経済評価に関する研究
大学院専用アドレス；e-shimogami@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
脳神経外科学	村田　英俊	1.脳腫瘍における特異発現タンパクの同定と機能解析 2.持続脳波モニタリング解析によるてんかん発症メカニズムの解明 3.脳・脊髄損傷モデルを用いた中枢神経再生研究 4.脳動脈瘤発生メカニズム解明 5.脳虚血に伴う neurovascular unit 損傷メカニズム解明 6.脳神経外科手術における IoT（internet of things）活用 7.神経損傷における脳浮腫発生のメカニズム解明（頭蓋内圧波形解析） 8.髄液産生吸収のメカニズム解明 9.頭蓋内圧測定の機器開発
大学院専用アドレス；daigakuin-neurosurgery@marianna-u.ac.jp		
整形外科学	原口　直樹	1.脊柱側弯症の長期観察研究 2.転移性脊椎腫瘍および化膿性脊椎炎の集学的治療に関する研究 3.新鮮凍結屍体を用いた安全な上肢手術アプローチの検討 4.手指骨折の治療成績向上の研究 5.新しいセメントレスカップ固定手技に基づいた新しいコンセプトの人工股関節の開発研究 6.新生児検診による DDH 症例への早期治療介入の手法の確立 7.前十字靭帯再建患者の筋線維タイプ別の筋力回復、リハビリテーションの適正化 8.中年期半月板断裂に対して縫合術が変形性関節症予防に有用か 9.距骨軟骨病変での術後軟骨再生の定量化と予後予測：T1ρマッピングを用いた縦断的研究 10.変形性足関節症に対する病態解明、評価、治療法の確立
大学院専用アドレス；daigakuin-ortho@marianna-u.ac.jp		
産婦人科学	鈴木　　直	1.プレコンセプションケアに関する研究 2.卵巣組織凍結・移植に関する基礎的研究と臨床応用 3.抗がん剤の性腺毒性に関する研究 4.人工卵巣開発に関する研究 5.精巣組織凍結に関する研究 6.婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療薬開発に関する分子生物学的検討 7.婦人科がん治療における QOL 評価(PRO)の検証に関する研究 8.小児・思春期がんサバイバーの長期フォローアップに関する研究（女性ヘルスケア） 9.骨粗鬆症の診断に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-sanpu@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
眼科学	北岡　康史(兼)	1.緑内障モデルにおける分子生物学的研究 2.緑内障手術における予後に影響する各種因子の研究 3.緑内障点眼薬による眼組織への薬理学的研究 4.糖尿病モデルにおける分子生物学的研究 5.網膜血管内皮細胞を用いた分子生物学的研究 6.硝子体手術における予後に影響する各種因子の影響 7.抗 VEGF 薬の眼組織への分子生物学的研究
大学院専用アドレス；daigakuin-ophthalmology@marianna-u.ac.jp		
耳鼻咽喉科学	小森　　学	1.小児動揺病の新規治療法開発の研究 2.ストレス測定とめまい発作予防法の開発 3.めまい疾患に対する外科的治療法の開発 4.小児声門下狭窄に対する粘膜シート治療の研究 5.側頭骨骨折と内耳振盪に関する研究 6.骨導インプラントに関する基礎研究 7.感覚器障害とフレイルに関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-otolaryngology@marianna-u.ac.jp		
麻酔学	井上 荘一郎	1.周術期における AKI の研究 2.医療処置における動作、視線の解析 3.周術期の超音波機器を用いたモニタリング 4.各種術後鎮痛法の研究 5.気管ステント挿入術における麻酔法の検討 6.シミュレーターを用いた教育手法の開発 7.周術期の循環動態モニタリング
大学院専用アドレス；daigakuin-anesthesiology@marianna-u.ac.jp		
形成外科学	松本　　洋	1.体性幹細胞の再生医学への応用 2.色素・表皮細胞培養移植に関する研究 3.毛包内毛の分化誘導に関する研究 4.組織移植時、皮弁内血行動態変化に関する研究 5.血管新生に関わる生理活性物質の臨床研究
大学院専用アドレス；daigakuin-prs@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
救急医学	藤谷　茂樹	1．重症病態における組織酸素代謝／体液管理／血管壁透過性異常／栄養管理の研究、shock の基礎的研究 2．Rapid Response System（RRS）院内急変対応システムについての研究と普及 3．脳蘇生：NIRS（脳血流の近赤外分光法）を用いた評価 4．汗中乳酸測定システムを用いた組織酸素代謝評価の検討 5．救急遠隔医療システムを応用した病院前からの院内及び多施設間までの急変対応医療機器システムの開発 6．アダプティブ RCT（Randomized Clinical Trial）を用いた重症市中肺炎の最適な治療法を迅速に見出す国際研究（REMAP-CAP）
大学院専用アドレス；kyukyu-secall@marianna-u.ac.jp		
スポーツ医学	藤谷　博人	1．筋損傷、再生への分子生物学的アプローチ 2．軟骨修復、軟骨再生への新規薬剤の研究、開発 3．膝・足関節装具のバイオメカニクスに関する研究 4．スポーツ選手（特に成長期）の競技別心身機能特性に関する研究 5．スポーツ外傷・障害の疫学調査と予防法の策定に関する研究 6．アスリートに対する心筋症早期発見のためのスクリーニング方法の検討 7．持久系競技のアスリートにおける運動耐容能と気候の関係に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-sportsmedicine@marianna-u.ac.jp		
臨床検査医学	遊道和雄（兼）（代行）	1．循環器疾患における各種非観血的指標の臨床的意義 2．医学教育と人材育成に関する研究 3．遺伝性疾患の診断に関する研究
大学院専用アドレス；daigakuin-rinsyokensa@marianna-u.ac.jp		
臨床腫瘍学	砂川　　優	1．固形がんに対する治療開発に関する研究 2．がん治療における分子腫瘍学に関する研究 3．化学療法における支持・緩和療法に関する研究
大学院専用アドレス；oncology-mari@marianna-u.ac.jp		
感染症学	國島　広之	1．感染症迅速診断検査の開発に関わる研究 2．Antimicrobial stewardship に関わる臨床的検討 3．ヒトの Microbiota および薬剤耐性に関わる研究 4．災害時の感染症危機管理に関わる研究 5．地域における感染症ネットワーク構築に関わる研究
大学院専用アドレス；daigakuin-infectious@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
リハビリテーション医学	佐々木 信幸	1.急性期脳卒中に対する反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS) 2.高次脳機能障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS) 3.神経難病に対する反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS) 4.認知機能障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS) 5.心疾患における運動負荷と循環応答 6.侵襲下における運動負荷と栄養負荷の有効性
大学院専用アドレス； daigakuin-reha@marianna-u.ac.jp		
緩和医療学	橋口 さおり	1.緩和ケアニーズと提供体制に関する研究 2.意思決定支援の方法と教育方略に関する研究 3.痛みをはじめとする身体的苦痛緩和に関する研究 4.精神的苦痛緩和に関する研究 5.緩和医療の医学部卒前教育及び早期の教育についての研究
大学院専用アドレス； daigakuin-palcare@marianna-u.ac.jp		
分子神経科学	北岡　康史	1.神経保護とオートファジーの研究 2.軸索障害モデルを用いた神経保護とグリアの関係の探索 3.グルタミン酸神経障害の研究 4.糖尿病の神経細胞に対する影響の研究 5.老化と神経変性疾患の研究 6.酸化ストレスと神経細胞死の研究 7.NAD 代謝とサーチュインの分子生物学的研究 8.脂質代謝改善薬の神経保護研究 9.緑内障の軸索変性の分子生物学的研究
大学院専用アドレス；daigakuin-molneurosci@marianna-u.ac.jp		
医療情報処理技術応用研究分野	小林　泰之	1.Machine Learning/生成 AI 等の人工知能（AI:Artificial Intelligence）を用いた各種医療用アルゴリズムの開発 2.画像診断における AI を用いた診断システムの開発 3.医療における ICT(Information and Communication Technology)の新たな利活用手法及びシステムの開発 4.病院内の臨床上での様々な課題に対する AI/ICT（生成 AI 等）を用いた解決手法の開発
大学院専用アドレス；daigakuin-medical-ict@marianna-u.ac.jp		
バイオインフォマティクス学	山本　博幸	1.次世代統合バイオインフォマティクス研究 2.クリニカルバイオインフォマティクス研究 3.がんゲノム解析と臨床応用研究 4.消化器がんゲノム解析と臨床応用研究 5.新たながんゲノム医療の創造研究 6.ゲノム統計学の基礎と臨床研究 7.ゲノム情報と臨床情報の統合研究
大学院専用アドレス；bioinformatics@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
周産期発生病態解明学	長谷川 潤一	1.周産期因子による脳性麻痺の予測と臍帯血幹細胞輸血による早期介入、予防に関する研究 2.胎盤・臍帯異常の発生メカニズムの解明と管理に関する臨床研究 3.癒着胎盤、胎盤病理を妊娠中に超音波組織診断する研究 4.高精細広帯域低流速カラードプラ法を用いた産科臨床応用に関する研究 5.新しい胎児の well-being 評価のためのデバイスの開発に関する研究 6.わが国の母体急変、妊産婦死亡例の原因分析、再発防止に関する疫学的研究 7.わが国の周産期に関連した脳性まひ児の原因分析、再発防止に関する疫学的研究 8.産科危機的出血を軽減させるためのデバイスの開発に関する研究
大学院専用アドレス；hasejun@marianna-u.ac.jp		
最新医学研究コース （社会人対象）	☆遊道　和雄（兼） 各専攻分野研究指導教員(兼) (☆モジュレーター)	研究指導教員により異なるので、指導を受ける教員の頁を参照
大学院専用アドレス；daigakuin@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース（内科学）	☆柴垣　有吾（兼） 大平　善之（兼） 峯下　昌道（兼） 明石　嘉浩（兼） 立石　敬介（兼） 曽根　正勝（兼） 山野　嘉久（兼） 新井　文子（兼） 川畑　仁人（兼） 國島　広之（兼） (☆モジュレーター)	1.総合診療内科領域における臨床研究 2.呼吸器内科領域における臨床研究 3.循環器内科領域における臨床研究 4.消化器内科領域における臨床研究 5.腎臓・高血圧内科領域における臨床研究 6.代謝・内分泌内科領域における臨床研究 7.脳神経内科領域における臨床研究 8.血液・腫瘍内科領域における臨床研究 9.リウマチ・膠原病・アレルギー内科領域における臨床研究
大学院専用アドレス；daigakuin@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース（外科学）	☆古田　繁行(兼) 民上　真也（兼） 縄田　　寛（兼） 佐治　　久（兼） 津川浩一郎（兼） 藤谷　茂樹（兼） (☆モジュレーター)	1.消化器外科領域における臨床研究 2.乳腺内分泌外科領域における臨床研究 3.小児外科領域における臨床研究 4.呼吸器外科領域における臨床研究 5.心臓血管外科領域における臨床研究 6.救急医学領域における臨床研究
大学院専用アドレス；daigakuin-surgery@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
高度臨床医育成コース（総合診療）	☆大平　善之（兼） 藤谷　茂樹（兼） （☆モジュレーター）	1．病歴情報や身体診察の操作特性、診断エラーなど、臨床推論に関する研究 2．患者受療行動、患者意思決定支援に関する研究 3．ポリファーマシー、薬物有害事象、処方最適化などに関する研究 4．地域で捉えた高齢者医療・家庭医療に関する研究 5．プライマリ・ケアの場で必要な迅速診断キットに関する研究 6．卒前・卒後教育に必要なクリニカルスキルに関する研究 7．地域医療連携システム、医療経済、医療政策に関する研究 8．リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究
大学院専用アドレス；daigakuin-gim-h@marianna-u.ac.jp		
未来がん医療プロフェッショナル養成コース	☆山野　嘉久（兼） 砂川　優　（兼） 遊道　和雄（兼） 峯下　昌道（兼） 立石　敬介（兼） 新井　文子（兼） 清水　直樹（兼） 中村　直樹（兼） 民上　真也（兼） 津川浩一郎（兼） 鈴木　　直（兼） 山本　博幸（兼） （☆モジュレーター）	1．がんゲノム解析に関する臨床研究 2．プレシジョン・メディシンの実践を含む臨床研究 3．プレシジョン・メディシンに必要な基礎研究および Translational Research 4．難治性白血病・リンパ腫に対する新規治療法の研究 5．AYA 世代に対するがん治療について 6．バイオインフォマティクス解析研究について 7．がんと内科的疾患との関連性について
大学院専用アドレス；daigakuin@marianna-u.ac.jp		

注：※1　2026 年 3 月 31 日定年退職のため後任研究指導教員選考予定